

税の知識

相続と税金

相続税は、亡くなった人(被相続人)の財産を相続や遺贈(遺言によって財産を譲ること)などによってもらった人(相続人など)にかかる税金です。

しかし、もらった財産のすべてにかかるわけではありません。被相続人の遺産の総額から非課税財産及び被相続人の債

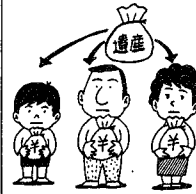
務や葬式費用を差し引いた正味の遺産額が基礎控除額を超えている場合、その超えた額に税金がかかります。

基礎控除額は、二、〇〇〇万円と四、〇〇〇万円に法定相続人の数を掛けた金額との合計額です。

また、相続人が配偶者や未成年者あるいは心身障害者であるときには、相続税から税額控除が受けられます。

なお、相続税の申告と納税は、被相続人が死亡した日の翌日から六か月以内、被相続人の住所地を所轄する税務署に申告と納税をしなければなりません。

詳しくは最寄りの税務署・税務相談室へお尋ね下さい。



今月の献立て

枝豆のおいしい季節に。えびは冷凍品を使ってもよいでしょう。

えびと枝豆のいためもの

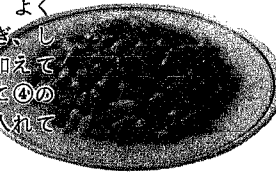
材料(4人分)

- 芝えび.....200g
- 片くり粉.....少々
- 枝豆.....1ワ
- ねぎ.....1本
- しょうが.....少々
- サラダ油.....大サジ5
- 塩.....小サジ1/2
- 砂糖.....小サジ1強
- 酒.....大サジ1
- 水溶き片くり粉.....少々
- 調味料=塩・酒・こしょう

作り方

- ①芝えびは竹ぐしで背ワタを抜いて殻を除き、水洗いしてよく水けをふき取って二つ三つに切り、塩・酒・こしょう各少々で下味をつけ、片くり粉を薄くまぶしておく。
- ②枝豆はゆで上げ、さやから豆を取り出しておく。
- ③ねぎは1cm幅のブツ切りに、しょうがは1cm角の薄切りにしておく。
- ④合わせ調味料の材料はよく混ぜ合わせておく。
- ⑤中華なべにサラダ油を熱して①のえびをいため、よくほぐれたら、③のねぎ、しょうが、②の枝豆を加えていため合わせ、最後に④の合わせ調味料を回し入れて手早くいため上げる。

調理時間30分



保健福祉だより

7月の事業計画

日	2	9	10	16	18	19	26	30
日曜	火曜	火曜	水曜	火曜	木曜	金曜	金曜	火曜
事業名	総合検診(循環器)結果指導会	機能訓練(後遺症者の集い)	糖尿病結果指導会	幼児歯科検診(サホライド・フッ素塗布)	糖尿病教室①	三才児検診(歯科及尿検査含)	母親学級	糖尿病教室②
対象	一般住民	脳卒中及びその他の後遺症者	6/19の精密検診受診者	二才~四才迄	要管理者	S57年5月1日~S57年8月31日生迄	妊娠届済の方	要管理者
会場	月寿荘	月寿荘	月寿荘	月寿荘	月寿荘	月寿荘	月寿荘	月寿荘
	就業改善センター	就業改善センター	就業改善センター	就業改善センター	就業改善センター	就業改善センター	就業改善センター	就業改善センター

クローバー教室

日	9	16	23	30
日曜	火曜	火曜	火曜	火曜
事業名	習字・組ひも・ちぎり絵	習字・組ひも・ちぎり絵	習字・組ひも・ちぎり絵	習字
会場	月寿荘	月寿荘	月寿荘	月寿荘
時間	午後1時30分から	午後1時30分から	午後1時30分から	午後1時30分から

冷房病に気をつけよう!!

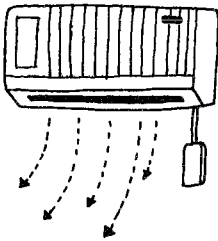
《家庭の健康》

適度な冷房は仕事の能率をあげ快いですが、冷房が効きすぎて体の不調を訴える人も多いようです。

理想の温度は外気温との差を五度くらいにするのがよいとされています。猛暑といわれるときは、気温が三度でも低ければ、ずいぶん涼しく感じるものです。部屋に温度計を備えて調節するようにしましょう。

職場などの冷房の場合はムラができるので常に上着を用意しておき、自分で調節することです。

なお、戸外で汗をかいて、そのまま冷房の強い部屋に入ると、汗が冷えてカゼをひきやすくなりますから汗をふきとることを忘れずに。



税の意見・要望は 国税モニターへ

昭和六十年年度国税モニターが、次のとおり決まりました。税務署では、皆さんの身近にいる方々に国税モニターをお願いしています。

国税モニターは税金について、いろいろなご意見・ご要望・悩みごとや苦情をお持ちの方からのお話しを伝えていただくいわば税務署と納税者の方々のパイプ役を果たしています。

電話でも匿名でも結構です。どんなことでもお気軽に国税モニターにお話しいただき、ご活用ください。

皆さんからお聞きしたご意見などは、今後の税務行政に生かしていくこととしております。

巻務署の国税モニターは次の方々です。

阿部 武司氏 西川町曾根
☎二五六一八八二〇七四
浅間 信一氏 吉田町中町
☎二五六一九三三四一三一
関谷 一郎氏 燕市下組
☎二五六一六二一四四四七

7月の事業計画

日	23	日
事業名	高令者学級	柔道教室
会場	月寿荘	西公民館
	午前10時	午後7時

公民館だより

あきつ俳壇



- 濁り鮒手掴み桶に泳がせり
 - 大緋鯉泳ぐ背より水のしわ
 - 瀬音のみ聞ゆる溪やほとときす
 - 夏わらび真下に光る峽の川
 - 花桐の高さにとぼす竹とんぼ
 - うつむきしおだまきの花屋敷跡
 - 朝雨のあがり青梅数えけり
 - 綿飴の売店並ぶ藤の寺
 - 茶の会の受付混めり藤の寺
 - 母の日や桐の小箱に紅と筆
 - 花大根土にふれをり雨三日
 - 菖蒲束菖蒲で括り売られけり
 - 酒蔵の連子格子や柿若葉
 - 蔓引いて少し進める尊舟
 - 水口を塞ぎし束の余り苗
 - 産室の真座へ落とせし田植泥
 - 幹二本からまり合へり藤の花
- 評 紫の花房が棚より垂れ、その広がりが見事である。作者は枝の広がりから大きな幹を想像したが二本の幹でこの藤棚を形成しているのを見取る。素直な写生句。